



Photo: Shingo Azumaya © Octavia Records Inc.

水野由紀 Yuki Mizuno

桐朋学園大学卒業後、同大学研究科修了。

これまでに宮崎国際音楽祭、JTアートホール室内楽シリーズ等数々のコンサートに出演。

2012年、東日本大震災チャリティー公演として飯森範親氏指揮・山形交響楽団と共演、好評を博す。同年、大学在学中に〈メンデルスゾーン／チェロ・ソナタ 第2番 ニ長調 Op.58〉をメインとした「Yuki Mizuno」(オクタヴィア・レコード)でCDデビュー。本作はのびやかな歌心と丹念な表現で高い評価を得、クラシックの新人演奏家の作品としては異例の売り上げを記録した。

2013年、大曲〈シューベルト／アルペジオーネ・ソナタ イ短調 D.821〉を主軸に据えた意欲作としてセカンドアルバム「アルペジオーネ・ソナタ」(同上)をリリース、JTアートホール アフィニスにて記念リサイタルも開催。ともに各音楽誌・新聞に取り上げられ、大きな反響を呼んだ。

2014年には、ヤマハホール コンサートシリーズにおいて2月に恩師である堤剛氏と共演し好評を博したほか、11月には「古川展生Produce スーパー・チェロ・アンサンブル」にも日本の若手チェリストを代表する1人として出演。同月3枚目のCDとして「メンデルスゾーン：ピアノ三重奏曲 第1番／ベートーヴェン：ピアノ三重奏曲『大公』」(同上)をリリース。12月には飯森範親氏指揮・日本センチュリー交響楽団と協演し〈ハイドン／チェロ協奏曲第2番 ニ長調 Hob.VIIb-2〉他にてソリストを務め絶賛された。また関西フィルハーモニー管弦楽団にゲスト首席として度々招かれており、ソロ・室内楽・オーケストラ等、一層意欲的に活動の幅を広げている。

これまでにチェロを堤剛氏、菊地知也氏に、室内楽を徳永二男氏、藤井一興氏に師事。霧島国際音楽賞受賞。

若手実力派チェリストとして確かな評価を得るとともに、その将来に大きな期待を寄せられている。

オフィシャルサイト <http://www.1002.co.jp/yukimizuno/>